

みなみ ほう そう 市 民 総 会


第 81 号
令和 8 年 8 月 13 日
議会だより



南房総市は
市制施行20周年

4月臨時会・6月定例会

議長・副議長の挨拶	2 p
新しい議会構成	3 p
施政方針	5 p
定例会レポート	6 p
補正予算審査	8 p
一般質問	10 p
～ 12 人の議員が市政を質す ～	
議案審査	22 p
市民の声	23 p

白浜・最果てのベンチ



新しい議会構成スタート！



就任あいさつ



議長
石井 教宇

この度の臨時会におきまして議長に就任させていただき、身に余る光栄であるとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

近年の物価高騰や激甚化する自然災害は、市民の皆様の暮らしに深刻な影響を及ぼしています。このような中、少子高齢化対策、財政の健全化、地場産業の振興等々、課題は山積しています。

私たち議会は、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、ご意見やご要望を市政に反映させながら、これらの課題解決に向け、積極的に政策立案や提言等に取り組んでいく所存です。

市の発展と市民の生活向上に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります。今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



副議長
佐藤喜久雄

この度の第1回臨時会におきまして、議員の皆様と皆様のご支持をいただき副議長に就任することとなり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

南房総市誕生から20年を超え、今後新たな市政運営が求められる中、微力ではありますが議長を補佐し、中立公平かつ円滑な議会運営に努めるとともに、市民の皆様と皆様方に開かれた議会を目指してまいりますので、今後さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年 第1回臨時会で新たな議会構成が決定

常任委員会

総務委員会 6人



委員長 山田 一洋
副委員長 神作 紀史
委員 木曾 貴夫
石井 教宇
佐藤喜久雄
朝倉 和利

福祉委員会 6人



委員長 川上 廣行
副委員長 小川 伸二
委員 川上 清
長谷川 博
安田 美由貴
阿部 美津江

産業委員会 6人



委員長 鈴木 克哉
副委員長 林 克治
委員 峯 隆司
岡本 秀和
三浦 直登
山口 俊也

議会構成

議会運営委員会 6人



委員長 阿部 美津江
副委員長 川上 廣行
委員 長谷川 博

委員 山田 一洋
委員 鈴木 克哉
委員 峯 隆司

議会広報編集特別委員会 6人



委員長 林 克治
副委員長 安田 美由貴
委員 朝倉 和利

委員 岡本 秀和
委員 三浦 直登
委員 山口 俊也

一部事務組合議会議員および 広域連合議会議員

千葉県後期高齢者医療広域
連合議会議員 1人

阿部 美津江

安房郡市広域市町村圏
事務組合議会議員 2人

石井 教宇
峯 隆司

鋸南地区環境衛生組合
議会議員 5人

木曾 貴夫
長谷川 博
佐藤 喜久雄
朝倉 和利
岡本 秀和

市長施政方針



話しあい、学びあい、ともにつくる南房総市へ

市長 渡辺 秀和

人口減少や少子高齢化など、地方自治体を取り巻く環境は、かつてないスピードで変化しています。将来にわたり人口2万5千人規模を維持し、子どもや若者に心から「帰っておいで」と言える地域をつくることを目指して、着実に変革を進めます。

1 誰も取り残さない社会

地域医療の維持と病院間連携を強固にし、高齢者をはじめとした市民が安心して動けるよう、乗合送迎サービスや移動販売を充実させます。また、いわゆる「書かない・行かない」窓口改革を推進し、行政手続きに時間と労力を要さない仕組みを目指します。

2 自然を活かす経済

農林水産業は、スマート農業や海業を推進し、持続可能な産業基盤を築きます。商工業は、企業誘致や起業家支援を推進し、次代につながる事業継承を促進します。観光は、当市の景観資源を磨き上げ、データに基づいた観光周遊ルート構築を図ります。

農林水産業、商工業、観光を連動させ、道の駅や総合加工施設をそれぞれの産業が交差する場所として最大限に活用し、地域全体で力強い経済を創り上げてまいります。

3 災害に負けないまち

避難所の環境整備に加え、地域の集会所等が自主避難所として機能が発揮できるよう、地域の自主防災組織と連携し、普段の暮らしの中に防災用品を取り入れる「備えない防災」という考え方を広めます。

4 子ども・若者の発想の活用

市の未来を創る子どもや若者の意見を総合戦略等に取り入れ、「南房総で暮らしたい、チャレンジしたい」と思ってもらえるよう、彼らの柔軟な発想を積極的に取り入れ、まちづくりを進めます。

5 3市1町の連携強化

公共交通や観光、医療・介護・福祉などは、市町の枠組みを超えてサービスが展開されています。3市1町の連携を強化し、市民や事業者の事務負担を減らすとともに、サービスの向上につなげます。「話しあい、学びあい、ともにつくる市政」。私を筆頭に、行政が現場へ足を運び、市民の皆さんの声を直接聞き、対話を通じて解決に向けて行動してまいります。

4月臨時会・6月定例会



4月臨時会が4月30日、6月定例会が6月8日～6月26日までの19日間開催され、報告5件、承認2件、同意5件、条例2件、一般議案4件、予算4件を審議した。採決の結果、すべて原案どおり可決した。

4月臨時会・6月定例会で決まった主なこと

○令和8年度一般会計補正予算（第1・2号）

（第1号）15億6,176万4千円追加。

（第2号）台風第6号の災害復旧費6,420万円追加し、総額297億7,996万4千円。

○契約の締結・外房地区自己搬入施設建設工事（建築工事）

白幡興業（株）が2億3,100万円で落札。

○鋸南地区環境衛生組合の解散・財産処分の協議

来年3月末に鋸南地区環境衛生組合を解散する。組合所有の財産を、鋸南町と分割して所有する。

○鋸南町のごみ処理事務委託協議

来年4月から鋸南町のごみ処理を、富山地区の可燃ごみ中継施設で行うため、事務を受託する。

○行政手続条例の一部改正

行政手続法の一部改正を踏まえ、市が許可の取消などを行う際の通知について、相手の所在が判明しない場合、従来の方法に加え、市のホームページ上でも公示し、法的には書類が届いたものとみなす。

○廃棄物処理施設設置管理条例の一部改正

昨年度、千倉衛生センターを解体したため、条例から当該施設を削除。

○専決処分の承認（市税条例の一部改正）

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の環境性能割を廃止。

○専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）

子ども・子育て支援納付金分に係る国民健康保険税の課税額を定める。

○令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

令和9年度から3年間の地域包括支援センター業務委託1億8,960万円の債務負担行為を設定。

○令和8年度国保病院事業会計補正予算（第1号）

医療ITコンサル業務396万円。医師住宅解体撤去費（アスベスト除去）298万2千円を追加。

国の補助金を使い、クラウドネイティブ型電子カルテへの更新1億1,711万3千円。

○教育長の任命

稲葉泰氏を新たに任命。

○教育委員の任命

岡崎俊明氏を再任。安藤深佳子氏を新たに任命。

○監査委員の選任

福原孝雄氏を再任。長谷川博氏を新たに任命。

令和8年南房総市議会第1回臨時会提出議案議決結果

議案種類	件 名	議決結果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（南房総市税条例の一部を改正する条例）	承 認 全 会 一 致
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（南房総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認 賛 成 多 数
同意第1号	南房総市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同 意 全 会 一 致
同意第2号	南房総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意 全 会 一 致
同意第3号	南房総市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 全 会 一 致
同意第4号	南房総市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 全 会 一 致

令和8年南房総市議会第2回定例会提出議案名一覧表

議案種類	件 名	議決結果
議案第35号	南房総市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第36号	南房総市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第37号	契約の締結について（南房総市外房地区自己搬入施設建設工事（建築工事））	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第38号	鋸南地区環境衛生組合の解散に関する協議について	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第39号	鋸南地区環境衛生組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第40号	南房総市と鋸南町のごみ処理の事務委託に関する協議について	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第41号	令和8年度南房総市一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第42号	令和8年度南房総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第43号	令和8年度南房総市国保病院事業会計補正予算（第1号）	原 案 可 決 全 会 一 致
議案第44号	令和8年度南房総市一般会計補正予算（第2号）	原 案 可 決 全 会 一 致
同意第5号	南房総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意 全 会 一 致

議案ごとの賛否

議案名		議員名																		
		山口 俊也	三浦 直登	岡本 秀和	朝倉 和利	小川 伸二	林 克治	川上 廣行	佐藤喜久雄	神作 紀史	山田 一洋	鈴木 克哉	阿部美津江	安田美由貴	峯 隆司	長谷川 博	木曾 貴夫	川上 清	石井 教宇	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (南房総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	

（賛否が分かれた議案のみ掲載）○：賛成 ×：反対

15億6,176万4千円追加で
総額297億7,996万4千円に

6月22日の予算審査特別委員会です予算案を審査した。

主な質疑・答弁は次のとおり。

◎一般会計補正予算
(第1号)

15億6176万4千円

◇行政区アプリ運用支援業務委託料
88万円

問 区長への研修等の実施予定は。

市民課長 行政アプリの操作説明会を10月頃実施予定。

問 今後は全面的にアプリの利用になるのか。

市民課長 紙の要望書も引き続き受け付ける。

◇朝夷行政センター管理費
1464万2千円

問 倉庫解体撤去工事・整備工事の工期は。

朝夷行政センター所長 倉庫解体撤去工事は約3カ月、その後の整備工事に約5カ月。

◇地域包括支援センター事業
820万2千円

問 丸山と和田が直営になったことで、介護利用料に影響はないのか。

高齢者支援課長 影響はない。

◇生活保護費
5344万4千円

問 生活保護を受けている世帯数は。

社会福祉課長 4月1日現在、315世帯。

◇千倉保健センター空調設備改修工事等
4788万9千円

問 空調設備修繕の全面改修の理由は。

健康推進課長 6系統ある空調のうち、1系統が完全に故障し、調査したところ、他の5系統も同様の劣化状況だったため。

問 工期は。

健康推進課長 8月末から4カ月程度。

◇環境都市づくり推進事業
400万円

問 地域エネルギー会社に出資し、損失リスクはないのか。

環境保全課長 損失が出ないような運営方法を展開する。

問 市のメリットは。

環境保全課長 令和3年にゼロカーボンシティ宣言。地球温暖化対策、再生可能エネルギーの活用および循環型社会の形成を推進し、地域経済の成長と地域課題の解決に向け、事業主体となり脱炭素を牽引する役割を担う。

◇外房地区自己搬入施設建設事業
1億7700万1千円

問 3工事の発注見込みは。

環境保全課長 8月頃に入札予定。

問 3工事同時発注か。

環境保全課長 同時発注の予定。

問 総事業費は。

環境保全課長 7億2089万6千円。市の負担分は5億5000万円。

◇農業委員会一般事務費
213万9千円

問 タブレット端末は何か。

農業委員会事務局長 農業委員19人、農地利用最適化推進委員26人の45台。

◇海産振興緊急支援事業
500万円

問 低利用魚の活用とは。

農林水産課長 藻場を食害する低利用魚が増えたため、モニタリングし、バーベキューや魚のさばき方、調理方法、試食、お土産販売まで一体化したモデル事業。



藻場を食べる低利用魚（ブダイ・アイゴ・ニザダイなど）

◇ちくら潮風王国大規模改修事業

3億4028万8千円

問 改修の理由は。

観光プロモーション課長

施設が30年経過し、訪れる人の安全性の確保。観光施設としての魅力の低下を防ぐため。

問 テナントの仮店舗での営業期間は。

観光プロモーション課長

令和9年4月から12月までの約9カ月間の予定。

◇道路新設改良事業

2500万円

問 どの工事が。

建設課長 南房総中学校の南側、令和6年度

石積み擁壁の改修工事により拡張された箇所など。

◇消防施設費

2272万2千円

問 第5支団第2分団

詰所の建設予定地は。

消防防災課長 現在の詰所の隣の土地を購入し、現在の詰所と一体で整備。

問 井戸の場所は。

学校再編整備課長 南房総

中学校の体育館の防災倉庫付近。

◇南房総中学校井戸新設工事

630万3千円

問 井戸の場所は。

学校再編整備課長 南房総

中学校の体育館の防災倉庫付近。

原案どおり可決

◎一般会計補正予算(第2号)

問 聞いている。災害時の想定は。

富山国保病院事務長 カル

テに参照用システムが備わっているので、運用したい。

問 データの移行はどう行うのか。

富山国保病院事務長 患者

には迷惑がかからないように行う。

原案どおり可決

◎介護保険特別会計補正予算(第1号)

原案どおり可決

◎国保病院事業会計補正予算(第1号)

◇クラウドネイティブ型電子カルテ導入費

1億1711万3千円

問 電子カルテのクラ

ウドネイティブ型を導入予定の病院はほかにあるか。

富山国保病院事務長 鴨川

市立国保病院は、当院と同じ、国庫補助事業を活用して移行すると



鈴木 克哉議員

前市政との違いをどのように示すか

市民の声や民間のノウハウなどを取り入れる

前市政の継承と見直しの基準

問 前市政の施策で、継承するものと見直すべきものを今後どんな基準で整理し、市

長として前市政との違いをどう示していくのか。

市長

基本的な方向性は現行の総合計画の重点プロジェクトに基づき実施し、旧江戸

小跡地へのプール等の整備計画は財源や維持管理の観点から見直し、富山国保病床移管は前市長の下、撤回された事を継承する。

政策の優先順位と判断基準

問

人口減少と財源制約が進む中で、市政のどの分野を優先・抑制するのか。その判断基準は。

市長

人口減少、財源の制約を踏まえ、民間資金の活用や行政の境界にとらわれず近隣市町の協力も得ながら判断する。

大型事業に対する市長の考え方

問

へぐり伊予ヶ岳公園整備事業5億8千万円、なみはらくじらパーク公園整備5億円、旧江戸小学校跡地整備「いこっと」が23億5千万円、さらに維持管理費、将来的には大規模修繕、更新費用も発生する。もし市長が当時市長の立場なら、これらの事業を同じように進めていったのか、あるいは財源

将来世代への負担等を考え違う判断もあったのか。

市長

へぐり伊予ヶ岳公園、なみはらくじらパークは子育て

世代、移住希望者の方から公園整備の要望を多く受け、実施の判断は適切と考える。

「いこっと」は有利な財源の下で利活用が難しい旧学校施設の解体を進め、手狭であった図書館機能、合併特例債の期限が迫る中、ベターな判断だったと考える。

問

今後の大型事業は事前に目標を定め達成状況を検証し、次の政策判断に繋げるKPIなどの客観的指標を活用した事業評価の仕組みを導入する考えはあるか。

市長

評価の軸となる客観的指標には御提案のとおり各施設に適切で客観的な指標を設定できるよう指示する。



へぐり伊予ヶ岳公園



交流複合施設「いこっと」



感震ブレーカー

感震ブレーカーの設置費用の助成を

導入の可能性について検討を進める



阿部美津江議員

火災対策

問 通電火災の危険性に関する市民への周知は。

市民生活部長

安房郡市消防本部

は感震ブレーカーの設置促進に向けて啓発をしており、各行政連絡

協議会会議ではチラシを配布している。

問

本市の地域防災計画に通電火災対策をどのように位置づけているのか。

市民生活部長

災害対策基本法等

関係法令の改正の動向を注視しながら、通電火災の位置づけを含めた地域防災計画の改定について検討したい。

介護予防事業

問

介護支援ボランティア制度への認識は。

市長

元氣な高齢者が介護施設または在宅等でのボランティア活動を行い、実績に応じポイントなどが付与され、獲得したポイントの商品などに交換ができる仕組みで、介護予防にもつながる。

問

介護予防施策の環境として、介護支援ボランティア制度を位置づける考えはあるか。

保健福祉部長

これまで制度

の導入を検討してきたが、引き続き実現可能

かどうか、慎重に調査・検討していく。

問

高齢者の健康維持や社会参加を促進する有効な取組の1つとして期待されているeスポーツを、サロン等に導入する考えはあるか。

市長

まずは試験的に市内の高齢者のサロン等においてeスポーツの体験会を開催し、効果や課題、ニーズ等を調査し、導入を検討していきたい。



高齢者のeスポーツ



朝倉 和利議員

今後の富山国保病院の運営方針は

引き続き公設公営で在宅医療の充実を図る

富山国保病院の運営方針等

問 公立病院は地域医療の確保では非常に重要であるが、富山

国保病院は有床の医療機関として現状を継続するの。

市長 経営改善に向けた努力を継続すること

を前提として、引き続き公設公営で運営する。

問 富山国保病院の現状は。

市長 医療収益は過去最高の実績を確保したが、費用面で増加があり、令和7年度決算の経常損益は4600万円弱の赤字。また、病院施設が法定耐用年数を迎える建物劣化状況調査を行い、その調査結果を踏まえ大規模改修や建て替えについての一定の方向性を導き出す必要がある。

問 市長が県に対し国保病院の派遣医師の確保を要望すること

市長 県に対して公立病院への医師派遣要望は必要だと考えており、熱意を持って取り組んでいく。

地域医療の現状認識等

問 市の地域医療に関する現状認識は。

市長 病院3施設、診療所14施設の合計17施設で、人口に対して医師数は全国お

び千葉県の平均値を下回っている状況。

問 市内の医療機関における後継者等の確保についてのアンケート結果は。

保健福祉部長 8施設で後継者がいないという回答。

市長の政治姿勢

問 市長の基本的な政治姿勢は。

市長 様々な組織や団体の皆様とともに、政策の立案、実行評価に参画いただける仕組みを整え、地域課

に、移住定住の促進と持続可能な地域づくりをセットで進め、農林水産業は、地域おこし協力隊の活用や南房総農業支援センターのコントラクター事業の拡大、商工業は事業所におけるデジタル化の支援の拡充、雇用の柔軟化の支援等、様々な取組があると考えている。

問 市役所の業務改善のほか、市民を守る政策は。

市長 移住定住の促進と持続可能な地域づくりをセットで進め、農林水産業は、地域おこし協力隊の活用や南房総農業支援センターのコントラクター事業の拡大、商工業は事業所におけるデジタル化の支援の拡充、雇用の柔軟化の支援等、様々な取組があると考えている。



富山国保病院

市役所窓口



市役所窓口



林 克治議員

委託事業者からの契約解除、市の受け止めは

相談体制の空白期間が生じないよう対応した

あんしんセンター

問 丸山・和田地区を担当するあんしんセンターが、直営のあんしんセンター南房総に統合されたが、なぜそのような事態になったのか。

市長 令和8年2月25日にあんしんセンター丸山・和田より、業務委託契約の解除の申出があり、市としては想定外であった。

あんしんセンターに配置する3職種のうち2職種の職員から退職願が出され、必要な職員体制の維持が困難になったという説明を受けた。

問

法人のグループ内から資格者を異動させるなど、企業努力を促さなかったのか。

保健福祉部長

法人に対してグループ内での配置転換など、グループ内での体制を構築するよう求めたが、難しいという回答だった。

問

委託契約の中に事業継続が困難になった場合の措置に関する文言はあったか。

保健福祉部長

受注者の責任による契約解除措置による文言はない。
問 事業者に違約金を請求する考えはあるか。

保健福祉部長

違約金については、現在、対応を調査中である。

問

改めてこの事案を市長はどう捉えているのか。

市長

市長として大きな危機感を持っている。事業者の人材確保が非常に厳しい中、当然、行政としても福祉の専門職を募集してもなかなか来ないという中で、事態は相当厳しいという認識である。
現在、これからのあんしんセンターの業務委託に向けて、実施方針、プロポーザル、仕様書などを検討していくわけだが、実際に委託可能かどうかの判断、ま

たそれらに対して経営の面からも、人材確保の面からも、多角的な審査を加えながら、適正な形で地域住民の安心を守るよう、直接指揮を取る覚悟で頑張っていきたい。





木曾 貴夫議員

持続可能な行財政運営の考え方は

さまざまな政策を総合的に推進する

市の現状

問 持続可能な行財政運営を今後どのように運営していくのか。

市長 持続可能な行財政運営を堅持していくためには、人口減少に対し、少しでも歯止めをかけることが喫

とマツチング支援、移住

緊の課題。将来にわたり、人口を2万5千人程度に維持することを目標に、15歳から49歳の主要な担い手となる層を確保する。

この目標を実現するため、子育て・教育環境の充実、仕事づくり

定住のさらなる促進、持続可能な街づくりの4つの重点プロジェクトを展開。さらにコミュニティの維持と活性化、地域の自治機能の強化、住民主導による地域課題

解決の仕組みづくりなど重点プロジェクトに位置付けた事業は、評価見直しを毎年度実施している。

財政面は、自主財源の確保、公共施設の適正管理、デジタル化の導入により、健全な財政運営に努める。

これらの政策を総合的に推進し、人口減少に耐えられる仕組みを構築していく。

また、高齢者や障害者の外出を支援する市の制度や、市社会福祉協議会が行っている高齢者等の外出支援サービスなどの移動支援について周知を行っている。

また、高齢者や障害者の外出を支援する市の制度や、市社会福祉協議会が行っている高齢者等の外出支援サービスなどの移動支援について周知を行っている。

投票率向上施策

問 高齢者の投票所への移動の不便さの現状を把握しているか。

選挙管理委員会委員長

投票所への移動が困難な高齢の選挙人がいることは把握している。投票機会確保のため、期日前投票所を7カ所設置し、どこの期日前投票所でも投票できるようにしている。

また、高齢者や障害者の外出を支援する市の制度や、市社会福祉協議会が行っている高齢者等の外出支援サービスなどの移動支援について周知を行っている。

また、高齢者や障害者の外出を支援する市の制度や、市社会福祉協議会が行っている高齢者等の外出支援サービスなどの移動支援について周知を行っている。

また、高齢者や障害者の外出を支援する市の制度や、市社会福祉協議会が行っている高齢者等の外出支援サービスなどの移動支援について周知を行っている。

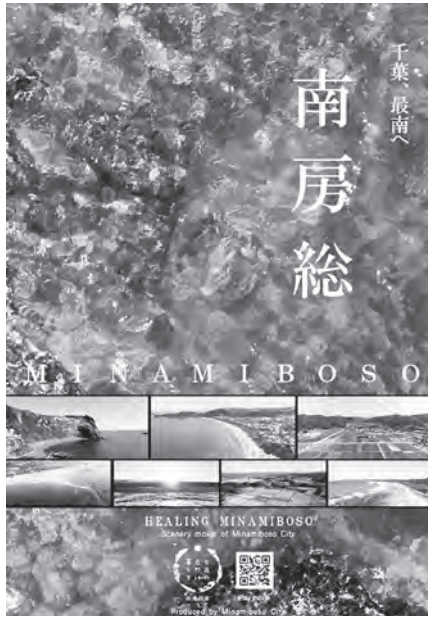
問

向上施策をどのように取り組むのか。

選挙管理委員会委員長

効果的な投票率向上策を検討するとともに、

引き続き投票環境の向上や、選挙啓発などの事業の推進に取り組んでいく。



移住・定住ポスター



投票所へ向かう高齢者（イメージ）

どのような方針で農業振興を取り組むのか

農業を基幹産業として再生し、成長産業へ転換させる



三浦 直登議員

農業振興の取り組み

問 農業振興の方針は。

市長 第2次総合計画に基づき、農業を基幹産業として再生し、成長産業へ転換させることを目指す。第1に農業に携わる人・担い手の確保、第2に農地の利用集積と基盤整備、第3に収益性の高い農業の推進、第4に有害鳥獣対策の強化を重点に取り組む。

問 農業資材・燃料の高騰対策は。

市長 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、肥料費、農薬費、燃料費等の一部を支援する事業の実施に向け、手続きを進めている。

問 建設中の有害鳥獣処理施設の運用方法は。

市長 捕獲従事者が施設へ捕獲物を持ち込み、荷受・計量の受付手続きを行った後、施設内の冷凍庫で一時的保管し、一定量に達した段階で、焼却処理を行う。

問 施設の概要と具体的な運用方法は。

農林水産部長 施設内は、事務室、焼却炉、冷凍庫を設置する。

1回400キロの処理が可能で、令和8年9月竣工、10月運用開始を目指している。使用

料は無料、受付時間は午前中、休業日はお盆と年末年始で検討している。

問 捕獲報奨金の申請は行えるのか。

農林水産部長 捕獲物の受け入れと同時に捕獲報奨金の申請手続きが行えるよう検討する。



問 教育方針の取り組みは。

教育長 南房総に残っても、離れても、どこに行っても通用する学力の向上と、支えとなるふるさとへの誇りと強い思いの涵養（かんよう）を重点施策として、教育施策を推進していく。

問 なみはらくじらパークの今後の運用と活用は。

教育長 今年度は、地域の方々、イベントの提案を検討しており、今後も地域との連携による活気ある公園を継続できるよう活用する。

今年度は、地域の方々、イベントの提案を検討しており、今後も地域との連携による活気ある公園を継続できるよう活用する。

問 教育委員会は、どのようにイベントに関与していくのか。

教育次長 地域住民の創意工夫で企画・運営するイベントを、関係部局と連携し、提案の具体化について協力する。

教育次長 創意工夫で企画・運営するイベント



なみはらくじらパーク



川上 廣行議員

持続可能な財政運営を問う

計画的な財政運営を推進

行財政運営

問 281億円の予算規模や基金活用に

ついて、市民からは将来への不安の声もある。人口減少や高齢化が進む中、どのような考えで予算執行を進めるのか。

市長

人口減少と少子高齢化を最優先

課題とし、稼ぐ力の向上、公共施設の最適化、デジタル化を推進する。基金や市債を計画的に活用して健全な財政運営を維持し、持続可能な住民サービスを提供する。

問

財政運営の上で、市民の暮らしに直結する事業をどのように位置づけるか。

総務部長

総合計画後期基本

計画の重点プロジェクトを中心とした事業に予算を配分し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進める。

酪農経営・

鳥獣被害対策

問

酪農家から、自家飼料作物へのイノシシ被害や電気柵の維持管理負担について切実な声を伺っているが、現場の実態把握と対策強化はどうか。

農林水産部長

防護柵設置支援や

捕獲、環境整備を進めている。今後は関係団体や関係者への聞き取りなどを行い、実態把握に努める。

問

酪農は本市の基幹産業の一つである。制度説明だけでなく、現場の声を直接把握し、実情に合った支援につなげるべきと思うが、どう考えるか。

農林水産部長

被害状況や現場の

ニーズを踏まえ、関係機関と連携しながら、より効果的な対策と地域酪農の維持支援に努める。



南房総市役所



酪農家の牛舎



山口 俊也議員

市長の市政にむける政策・方針は

持続可能な活力ある地域づくりを推進

目指す市政運営

問 地域活性に対する基本方針について考えていることは何か。

市長 人口減少の課題に対し、単に人口を増やすだけを目指すのではなく、持続可能な活力ある地域づくりを推進することが重要。移住・定住の取組はもとより、担い手が減少する中で、年齢性別にとらわれず、多様な人材が活躍できる環境づくりを進める。

問 若者定住に対する考えは。

市長 移住コーディネーターの配置や移住相談体制の強化で、多様な人材が働く機会を広げ、住環境の

面では、移住・定住者向け、また子育て世帯への補助制度により経済的負担等を軽減していく。

問 移住コーディネーターの配置と、移住相談体制の効果は。

総務部長 令和4年10月から1人を配置し、移住者年間50人を目標としている。令和7年度は263件の相談があり、33人が当市に移住した。

問 公共施設再編に対する考えは。

市長 可能な限り次世代に負担を残さない公共施設の配置の実現に努める。

営繕におけるPFIの導入等で活用方法を探る。館山市との定住

自立圏構想で、両市が相互に連携・協力し、必要な生活機能の確保を目指す。

問 廃校および未利用公共施設の件数と今後の方針は。

市長 旧白浜中学校、旧山保育所の3件。このうち旧白浜中学校と旧図書館は利活用に向けた検討をしているが、旧丸山保育所は老朽化のため利活用の検討は行っていない。

問 地域おこし協力隊の現況はどうか。

市長 10年間で27人の隊員が各分野で活躍。任期後の隊員の定着率は100%。

問 市内の遊歩道施設に休憩施設（ベン

チ等）整備に対する考えは。

市長 新たな施設整備は維持管理を考慮すると難しい状況。現状施設の維持管理に努め、既存の構造物を休

憩施設として活用いただくなど、利用者にも配慮いただきながら、遊歩道施設が長く維持、

存続できるよう対応したい。



各分野で働く地域おこし協力隊



遊歩道施設（千倉地区）



岡本 秀和議員

農業支援と地域計画の機能強化策は

地域計画に学生・市職員の参画を推進していく

農機共同利用への転換とハブ化

問

高齢化や資材高騰が進む中、自己完結型農業は限界である。農機の「所有」から「共同利用」への転換を促すため支援をハブ化し、未対応の水田作への業務拡大やドローン等デジタル技術の活用により、身軽な経営モデルへの支援へ転換すべきでは。

農林水産部長

水田作メ
ニューは

現状では無いが、地域コントラクター事業者への委託方式を構築していきたい。作業の可能時期や価格のミスマッチ、圃場特性による受注の可

否など課題は多々あるが、水田作に従事する農家が機械やオペレータに過度の投資をしなくても営農を継続しやすくなるよう、作業メ

ニュー拡大なども踏まえ、農業支援センターの機能強化に向けた業務拡大を検討する。



農業用ドローン

次世代の地域計画への参画と実学教育

問

市内22地区で策定した地域計画を現実的なものにするため、今後の見直しに向けた協議の場に安房拓心高校の生徒など次世代の若者を参画させ、将来地域に戻るための羅針盤となるよう、教育委員会と連携して実学教育を推進すべきでは。

農林水産部長

どんなや
り方で高

校生や中学生を参画させていくのかを市教育委員会等と連携して研究し、今後検討していきたい。

市長

地域計画は地域の未来が見えるビジョンとして大変重要な計画である。各地区に居住する職員が自

由に参加できる状況であれば、情報提供等を含め促し、行政が関わる形を検討する。



地域計画



学校給食

学校給食

問 今年度の中学校給食費を前年度と同額に据え置くために、重点支援交付金の活用を検討する考えはあるか。

市長 国の支援メニューは、給食費も含め様々ある。その中から、



安田美由貴議員

検討している。

問 不登校やアレルギーなどで小学校給食を食べていない児童の保護者に、経済的な支援を行う考えはないか。

教育長 給食費負担軽減の補助金は、学校給食の食材費分が対象なので、支援は考えていない。

問 小学校の給食を食べていない児童数は何人か。

教育次長 児童数1千人中16人。

問 給食費負担軽減補助金は、登校児童数ではなく、在籍児童数で算出される。国に実施計画を出せば、給食を食べない人への

支援も、教育委員会の判断で補助対象にできるのではないか。

教育次長 給食を希望しない保護者への負担軽減は考えていない。

問 地域未来交付金（地域防災緊急整備型）を活用し、トイレカーを導入する考えはないか。

市長 導入経費・維持管理費・保管場所・運用体制・し尿処理の対応などの課題もある。

問 国の支援制度の活用可能性や費用対効果なども踏まえ検討したい。

男性小用トイレ

男性小用トイレ

問 スカイトイレなどの男性用の小用トイレの備蓄状況はどうか。

市民生活部長 備蓄していない。

問 「お祭りのとき路地裏の水路で用を足す人がいて、悪臭で困る」との声がある。備蓄している災害用トイレを貸し出せないか。

市民生活部長 予期せぬ破損や不衛生な状態が生ずるリスクもあり、貸し出しは難しい。

バス停のバリアフリー化

問 千倉の瀬戸浜バス停では「花壇をまたがなければ、バスに乗れない」との声がある。

市長 花壇の一部を埋めて乗降時の利便性を優先し、埋めないか。



瀬戸浜バス停

国の重点支援地方交付金は、今年度はいくらか

2266万3千円



山田 一洋議員

出産祝い金制度の導入は

効果的な施策を総合的に検討

道路美化

問 通学路の雑草によつて子どもや自転車・バイク利用者の通行に支障が出ている。防草シートなどの活用

市長 防草シートは有効な手法だが、市道延長が長く費用や維持管理の課題があるため、通学路や交通量

により対策はできないか。

など優先度の高い場所の抽出や市民と関係した管理手法など、限られた予算と人員の中で持続可能な道路管理の研究・検討を行う。

問 生徒へのアンケートや外来植物オオキンケイギクの根絶対応は。

建設環境部長 通学路安全推進会議で危険箇所を共有し、草木が支障となる箇所は各管理者が対応している。

問 オオキンケイギクについては、戸別訪問は効果的だが件数が多く困難なため、広報紙やホームページで駆除方法を周知する。

オオキンケイギクについては、戸別訪問は効果的だが件数が多く困難なため、広報紙やホームページで駆除方法を周知する。

出産祝い金制度

問 出産祝い金制度の導入は。

教育長 祝い金には経済的負担軽減と市全体で誕生を祝う意味がある一方、保育環境・子育て支援・相談体制・教育環境など切れ目ない支援が重要であり、効果的な施策を総合的に検討する。

事業者へ改善を要望し、フリーWi-Fiの利用範囲拡大も検討する。

市長 最低価格落札方式と総合評価落札方式の特徴を踏まえ、用途に応じて最適な契約方法を選ぶ。

入札制度

問 入札制度では、導入価格だけでなく修理費を含むトータルコストを重視すべきと考えるがどうか。

公共施設の維持管理

問 公共施設の携帯電話やWi-Fi環境について災害時や利便性の観点から改善出来ないか。

市長 一部施設でつながりにくい状況を把握しており、通信



オオキンケイギク



地域経済・交通・自治体経営について問う



小川 伸二議員

支援充実と自治体広域連携で地域を守る

商工事業者支援

問 物価高騰・人件費
上昇が続く中、中
小企業者融資資金利子
補給制度や、がんばる
事業者支援補助金の活
用状況と今後の在り方
は。

市長 昨今の厳しい経
済環境の中、市
内事業者が前を向いて
経営に取り組めるよう
実効性の高い支援を講
じることが重要。

投資的支出という視
点は、市の将来や地域
経済活性化を考える上
で非常に大切な考え方
と受け止めている。国・
県の支援策も積極的に
活用しながら、商工会
等関係機関と緊密に連

携し、市の活力を引き
出す取組を強化し、制
度の見直し・拡充を含
めて検討を進める。

携し、市の活力を引き
出す取組を強化し、制
度の見直し・拡充を含
めて検討を進める。

携し、市の活力を引き
出す取組を強化し、制
度の見直し・拡充を含
めて検討を進める。

公共交通施策

問 公共ライドシェア
「房総ライド」の
実証実験の現状と、フ
ルサービス化による既
存事業者への影響検証
の必要性があるのでは。

市長 昨今の厳しい経
済環境の中、市
内事業者が前を向いて
経営に取り組めるよう
実効性の高い支援を講
じることが重要。

総務部長

現行の夜
間実証だ
けでは日中帯の需要は
把握できないことは承
知している。

通院・買物など日中
に別の需要があると想
定し、丸山・和田地区
を対象として日中帯の
公共ライドシェアの運
行について検討を進め



房総ライドタクシー

次世代に向けた 自治体経営の在り方

問 合併20年の総括と
周年事業の趣旨
また人口減少・インフラ
老朽化を見据えた行政
機能の再編と周辺自治
体との連携強化につい
て市長の考えは。

市長 人口減少やDX
の進展を踏ま
え、公共施設の相互利
用なども含めて様々な
可能性を検討したい。周
辺自治体との連携はハ
ードルが高いが、双方の
ニーズが合致すれば市
町村の枠をまたいだマネ
ジメントレベルの統合
(行政一元化)も前向き
に検討することはあり
得るし、排除すべきでな

市長

人口減少やDX
の進展を踏ま
え、公共施設の相互利
用なども含めて様々な
可能性を検討したい。周
辺自治体との連携はハ
ードルが高いが、双方の
ニーズが合致すれば市
町村の枠をまたいだマネ
ジメントレベルの統合
(行政一元化)も前向き
に検討することはあり
得るし、排除すべきでな



いと考えている。

総務

外房地区自己搬入施設建築工事 2億3,100万円で落札

6月19日の総務委員会で付託された議案を審査した。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎契約の締結
(外房地区自己搬入施設建設工事(建築工事))

問 工事の着手時期は、環境保全課長 造成工事終了後の予定。

問 造成工事は、予定どおり進んでいるのか。

環境保全課長 盛土規制法に基づく県との協議や、造成工事敷地内に農林水産省所有の土地があり、現時点で2カ月から3カ月の工期の遅れが生じている。工期に間に合うよう、施工監理事業者・工事の施工事業者と協議を進め努力する。

問 工期に間に合わない場合、弊害が出るのか。

環境保全課長 外房地区自己搬入施設は、千倉清掃センターの施設と同類なので、もし工事が完成しない場合は、既存施設を利用してごみ処理事務を進める。

問 これからどんな工事を予定しているのか。

環境保全課長 造成工事の工期が8月までで、8月からは現地に入るよう、建築工事の契約の締結をお願いしている。

その後、機械設備・電気設備・外構工事があり、分離発注で8月の契約を目指して事務を進めている。

◎行政手続条例の一部改正

原案どおり可決

産業

鋸南地区環境衛生組合を解散 大谷クリーンセンターは解体に向け調査

6月19日、産業委員会が開かれ、付託された議案を審査した。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎鋸南地区環境衛生組合の解散・財産処分

問 大谷クリーンセンターの跡地は、解散後どう活用するのか。

環境保全課長 土地の利用方法は未定。焼却処理終了後は解体の方向で検討しており、有害物質が地中にないか、本年度から来年度まで約2年間調査する。

問 富山国保病院敷地内の伝染病隔離病舎が設置された経緯と市が所有することに問題はないか。

富山国保病院事務長 昭和42年に当時の伝染予防法に基づき、組合が建設し、平成6年に現在地へ建て替えた。その後、富山国保病院が有償で借りてきた。これまでの経緯と管理運営

の実態から、市が移管を受けることが適切である。

問 移管後の運営と補助金は。

富山国保病院事務長 運営は引き続き富山国保病院が行い、感染症指定医療機関運営費補助金も継続して交付される。

◎廃棄物処理施設設置管理条例の一部改正

◎南房総市と鋸南町のごみ処理事務委託

原案どおり可決



こんなまちづくりに期待します

理想を現実に



なみ き ひで お
並木 秀男さん

私は3年前に埼玉県から移住し、漸く富浦の環境にも馴染んできましたが、時折寂しさを感じることもあります。

近くが多田良海岸を散策していると、移住前にこの場所で開催されていた、地元の方々や観光客が一緒になって楽しむアジのつかみ取り大会に参加したことを思い出します。海に囲まれた南房総市ならではのイベントとして、ぜひ復活していただきたいです。

また、その会場で夕暮れ時に花火大会を開催してはどうでしょうか。初回は小規模な花火でも、毎年開催を重ねるごとに少しずつ規模を大きくしながら、市民と観光客がともに楽しめる夏の風物詩へと育っていくことを願います。

市民の声が実現への一歩となり、このような取組が近い将来実現することを期待します。

また、市民の皆さんが日常生活で感じている想いや提案・要望を気軽に投稿できる目安箱のような仕組みを庁舎内に設置し、市の行政運営の一助となることを望みます。

移住希望者に房州人の良さをアピール!



さ こう ひで やす たか こ
佐合 秀康さん・貴子さん夫妻

僕たち夫婦は和田地区に移住し、酪農を始めて3年半が経ちました。

以前は酪農関係の会社に勤め、南房総市の酪農家を回っていました。就農も和田地区の酪農家から、「牛舎が空いているのでやったらどうだ」とお誘いを受けた事がきっかけです。牛相手の仕事は毎日忙しいながらも、先輩酪農家のサポートを頂きながら、2人で毎日充実した日々を送っています。ご近所の中三原の方たちも、春は花見、年末は餅つきなど、お声をかけていただいたり、通りすがりに野菜をもらったりしています。地域の皆さんが気にかけて、面倒を見ていただいていることに感謝しているとともに、受け入れてもらえて良かったなと感じています。

多くの移住希望者は、移住先を比較する中で、その土地の人間関係に不安を抱きます。移住希望者に市の魅力をアピールする時、設備や環境と言ったハード面はもちろんですが、房州人独特の人の良さ、面倒見の良さなど、人柄というソフト面をもっと紹介した方がいいと感じています。

議会広報編集特別委員会では、市民の皆様のまちづくりに対するご意見・ご要望の投稿を募集しています。掲載を希望する場合は、本文は400字以内、顔写真が必要です。

連絡・投稿先 南房総市富浦町青木28番地

議会広報編集特別委員会 TEL 0470-33-1111 FAX 0470-20-4595



表紙の写真を募集します



市議会では年4回（5月・8月・11月・2月）議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれるため、表紙写真を募集しています。

募集する写真

市内で撮影された四季の風景、イベントなど

応募資格

市内在住・通勤・通学の人

応募方法

住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日時を記入のうえ、議会事務局へ電子メール、もしくは郵送・持参してください。
（データで送る際はサイズ2MB以上3.5MB未満でお願いします）

応募上の注意

- ・市内で撮影された、カラー写真に限ります。
- ・応募写真に個人を特定できるような人物（第三者）が写っているとき、または撮影した対象物が個人の所有物である場合は応募者の責任で人物（被写体）、または所有者の承諾を得てください。
- ・採用された場合、表紙に氏名を掲載させていただきます。
- ・ご応募いただいた写真などは原則返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

選考方法

市議会広報編集特別委員会が選考します。

お問い合わせ

南房総市議会事務局
住 所：〒299-2492
南房総市富浦町青木28
電 話：0470-33-1111
メール：gikai@city.minamiboso.lg.jp

南房総市議会 YouTube チャンネルでライブ・録画配信しています。スマホでも視聴できます。

市ホームページ

市議会

市議会インターネット中継（二次元コード）



からご覧ください。
（配信期間は約2カ月です。）

9月定例会は
8月28日(金)

午前10時から
予定しています

傍聴手続きは簡単!!

市役所2階で住所・氏名
を書くだけです。



議会広報編集特別委員会が新たに編成されました。
今号より新人議員4人が編集に加わります。
市民の皆様には議会のことだけでなく、興味深い、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。
また、こちらの紙面の表紙を飾る四季折々の風景や、市内での行事の様子を写真で募集しております。たくさんのご応募をお待ちしております。
清き一票を託した議員がどのような活動を行っているかを、議会だよりでお確かめください。市民の皆様からのご意見も随時募集しております。
よろしくお願ひ致します。